



八総務第140401号
令和4年2月4日

八幡平市議会議長 工藤 剛 様

八幡平市長 佐々木 孝 弘



令和3年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」で寄せられた要望・提言等
に係る市の対応方針について (回答)

令和4年1月17日付け八議事第131701号で通知のありました標記について、次のとおり回答します。

記

(1) 大更コミュニティセンター (令和3年12月4日・2班)

- ① 緊急時の防災無線が各所でよく聞き取れないので不安である。風向きの悪条件や、設置場所の問題もあるが調査し、改善・検討してほしい。

【回答】

防災行政無線につきましては、放送内容が聞き取れないとの声がある一方で、音がうるさいという苦情も寄せられております。要望があった際にはその都度、音量の調節などの対応を行っているものの、全てのご要望にお応えすることは実質的に困難でありますので、ご理解をお願いいたします。

令和2年度におきまして、防災行政無線の聴取困難箇所を調査し、その結果、大更地区内で聴取困難と判定された1地点は、音量やスピーカー方向の調整により対応を行いました。今後も多くの要望が寄せられるような状況が続くようであれば、同様の調査を再度行う方向で検討したいと考えております。

また、防災行政無線の放送内容は、電話応答サービス (番号 0195-68-7313) で確認することができますので、ご活用ください。

【回答担当課：防災安全課】

- ② 国道から大更中央線市立病院方面への分岐地点に信号機設置が急務である (現在、大型ドラッグ店が7月開業を目指して工事中であり、人と車の往来で混雑が予想され危険である)。

【回答】

大型ドラッグ店への車両の出入りににつきましては、西根バイパスからの進入路



が2箇所、市道大更中央線からの進入路が1箇所計画されております。当該箇所の交差点におきまして、通行車両の慢性的な混雑は発生しないと思われませんが、今後、交通量の動向を見極めながら、必要に応じて、信号機の設置について岩手県公安委員会に要望してまいります。

【回答担当課：建設課】

③ 市民の芸術文化の向上と市民交流ふれあいの場のために文化会館は必要である。

【回答】

文化会館につきましては、「新市建設計画」の「芸術文化振興プロジェクト」に「多目的文化交流施設整備事業」として掲載されておりますが、現在まで未着手の状況です。

令和3年度から7年度までの5カ年の後期基本計画におきまして、令和7年度に多目的文化施設建設実施設計委託を計画しております。規模や運営手法などについて引き続き検討を重ねるとともに、広域圏や近隣市町の文化施設の有効利用・相互協力などについても考慮しながら、最良なあり方を見極め、検討してまいります。

【回答担当課：文化スポーツ課】

(2) 寺田コミュニティセンター（令和3年12月11日・1班）

① 松尾の水源地を変えてほしい。加湿器を使うと白い粉が舞い散るなど水廻りの器具がすぐ故障する。

【回答】

水道法に規定される水質検査を実施のうえ、水道法に適合する水を供給しておりますが、水を加熱する器具で同様の事案が発生することを確認しており、給水区域の変更などを検討してまいります。

【回答担当課：上下水道課】

② 児童遊園の砂利が粗いので、子どもたちが怪我をする。もう少し整備してほしい。

【回答】

寺田児童遊園につきましては、本来の児童遊園としての機能のほか、地域の要望等もあり、保育所の送迎時の駐車場としても利用されています。そのような利用形態のなか、車両の往来がありますと、地面に窪みができてしまうことから、以前から地元の要望により、その箇所に碎石を敷いているところです。

碎石敷きなどの整備につきましては、雪解け後に現状確認を行い、子どもたちの安全に配慮し、今後とも利用者や地域の方々と相談しながら進めてまいります。

【回答担当課：地域福祉課】

- ③ 市役所の窓口は、車いすでもたらいまわしされるので、市の手続きを1カ所で対応できる生活全般の窓口がほしい。

【回答】

窓口業務につきましては、平成17年の合併以来、窓口サービスの向上及び改善に向けた取り組みを継続してきたところです。

ご要望のありました1つの窓口で複数の手続を行ういわゆる「窓口ワンストップサービス」の導入も検討しているところです。

今後におきましても、来庁される全ての方に対し、満足いただける窓口となるよう取り組みを継続し、更なる窓口サービスの向上を図ってまいりたいと考えております。

【回答担当課：企画財政課】

(3) 田山コミュニティセンター（令和3年12月11日・3班）

- ① 田山多目的グラウンドのトイレをウォシュレットに改善してほしい。屋外屋内全部。スキーインターハイ、スキー国体の実施会場にふさわしい施設にしてほしい。

【回答】

田山多目的グラウンドには、管理棟内のトイレと24時間利用可能なトイレ棟がありますが、いずれのトイレも温水洗浄便座を設置しておりません。

また、インターハイや国体等の参加人数が多いイベントの際には、既存の施設では数が不足することから、仮設トイレを設置して対応しており、参加選手の皆さまのご協力のもと、大会運営を行っているところでございます。

現在のところ、温水洗浄便座の設置予定はありませんが、利用者の皆さまが快適に利用していただけるよう、引き続き衛生管理の徹底に努めてまいります。

また、修繕や更新の際には、他の体育施設等の状況を踏まえて、快適に利用いただけるトイレのあり方について検討したいと考えております。

【回答担当課：文化スポーツ課】

- ② 市立病院と兄畑間のバス利用について、にしね眼科を利用した場合、帰りのバス時間まで2時間もあり、この間の休憩する場所がほしい。冬の寒い中、居場所がない。にしね眼科を利用してから市立病院に移動して病院の待合室で待つことには抵抗がある。安代地区の人たちのために、にしね眼科の前のバス停に待合室を整備してほしい。

【回答】

長時間の待ち時間に対応するための待合室設置のご提言ですが、長時間の待ち時間を解消しなければならないと考えております。

公共交通の便数、乗り継ぎの不便な状況を解消するため、JR、岩手県北バスなどの交通事業者や、市地域公共交通活性化協議会において検討を重ねながら次

回の市コミュニティバス運行再編に臨んでまいります。

【回答担当課：まちづくり推進課】

- ③ 老人が集まる施設がほしい(田山地区老人会館)。この発言は、安代地区の老人憩いの家(あずみの湯)を利用するには、田山からだとして遠くて気軽に利用できないことから。

【回答】

田山地区における高齢者が集まる施設につきましては、地域の方であればどなたでも利用できるスペースとして社会福祉法人安代会が運営している「グループホームやがみ」の施設内に「地域交流スペース」がございますので、この施設を含め、既存の施設をご活用いただきたいと思いますと考えております。

また、綿帽子温泉館(あずみの湯)では、田山地区の65歳以上の方を対象に、週1回程度ですが健康教室を開催しており、行政区回覧にてお知らせしています。温泉、健康器具等の利用ができ、気軽に参加できる内容となっております。

なお、参加される方には、無料バスの送迎も行っています。田山地区の高齢者の方々が綿帽子温泉館(あずみの湯)を気軽に利用できるよう、引き続きこの教室を開催してまいります。

【回答担当課：健康福祉課】

(4) 田頭コミュニティセンター(令和3年12月18日・1班)

- ① 竹花ゲートボール場に水道を設置してほしい。

【回答】

当案件につきましては、利用団体(市ゲートボール協会)から市に要望書が提出されております。当該市有地は、旧西根町宮竹花住宅の跡地であり、旧町時代に当面の利活用が未定であったことから、ゲートボール場として利用されてきたものと認識しております。

しかし、当該地は、ゲートボール場として市が整備したものではなく、将来にわたる水道料金の負担及び維持管理の面から、市として水道敷設を行う予定はございません。

なお、競技や練習中における水分補給や手指消毒等の対応につきましては、引き続き、当該市有地を利用される皆様方に対応いただきたい旨、令和4年1月7日付けの文書を持参の上、利用団体の事務局様に総務課職員から説明をしていることを申し添えます。

【回答担当課：総務課】

- ② 旧西根病院駐車場を学校の送迎場所に利用しているので、除雪をしてほしい。

【回答】

原則、送迎場所は学校敷地内で、狭い場所では十分事故等に注意しながら、送

迎をお願いしております。

旧西根病院駐車場は、新市立病院として移転後、当面の利活用が未定であることから路面状況が悪く、除雪車が入るとさらに悪化させる恐れがあるとのことで、除雪は行っておりません（転向のため一部分のみ除雪されているところがあります）。また、県道からの入り口が狭く、事故の発生が懸念されます。

今後は、旧西根病院跡地の利活用の状況を注視しながら検討してまいります。

【回答担当課：教育総務課】

- ③ 田頭コミセンの水道光熱費は年間 11～13 万円程度かかるが、市の補助金は7万3千円である。自治公民館会費は1世帯5千円の負担をしているが、世帯の減少、老人世帯の増加とこれ以上の負担は重荷である。補助金の増額をお願いしたい。

【回答】

提言のございました自治公民館の補助金（自治会活動費補助金）につきましては、地区住民の地域振興を促進し、自治組織の活性化を図るため、自治会活動に要する経費に対して予算の範囲内で補助金を交付するものでございます。このことから、自治公民館施設に係る維持管理経費については、前述の自治会活動補助金の対象外であり、自治会の費用によりご負担いただくものとしております。自治会によっては、集会施設を所有していない自治会もあることから、補助金の公平性の観点からそのような対応とさせていただいております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

一方、ご案内のとおり田頭コミセンは市の施設であり、指定管理としてその施設管理を地域振興協議会をお願いしております。このことから、コミセンの光熱水費をはじめとして施設の維持管理費を振興協議会にお支払いしているものでございます。

本市においても人口減少に歯止めがかからないことから、積極的な移住相談や情報発信を図っていくことで世帯人口の増加と地域の活性化につながるよう努めてまいります。

【回答担当課：まちづくり推進課】

- (5) 松尾コミュニティセンター（令和3年12月18日・3班）

- ① 旧松尾鉦山跡地の活用促進をしてほしい。

【回答】

旧松尾鉦山跡地につきましては、閉山から約50年が経過し、敷地立ち入りに関しての安全確保が困難なことから、立ち入りが禁止されている現状です。

しかし、露天掘跡地が経済産業省から「地域活性化に役立つ近代化産業遺産」に認定されていること、多数の観光客が訪れる十和田八幡平国立公園と隣接することから、文化・観光面において貴重な資源でもあります。

今後、土地所有者の森林管理署等の関係機関の意見も伺いながら、安全面を確

保した鉱山跡地の利活用の方法を検討してまいりたいと考えております。

【回答担当課：商工観光課】

- ② 釜石環状列石の本格的な調査をして、ストーンサークルを地上に出して、世界遺産に追加登録申請してほしい。

【回答】

釜石環状列石は昭和 29 年の慶應義塾大学による発掘調査後に埋め戻され、現在は笹や赤松が生い茂る山林となっております。再度発掘するためには、笹や赤松を全て伐採除去する必要がありますが、伐採や伐根除去に伴い多くの遺構が破壊される恐れがあることから、発掘調査の可否も含めて綿密な事前調査が必要となります。

また、世界遺産への追加登録を目指すためには、前回、調査が行き届かなかった箇所も含めて、全容を明らかにするための発掘調査も必要と認識しております。釜石環状列石は、縄文時代晩期前葉期の例として希少な環状列石であると言われておりますが、現在の状況を踏まえると調査方法や調査後の保存計画について慎重な検討が必要であると考えております。

【回答担当課：文化スポーツ課】

- ③ なかやま荘は休館しているが、ここを高齢者が短期で入所できる施設にできないか。

【回答】

自然休養村なかやま荘は、昭和 52 年から建設が行われ、その後、増築を行いながら市が指定する指定管理者が営業をしてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用客の激減が続き、指定管理者の経営悪化を理由に令和 3 年 4 月から宿泊・飲食部門を休館し、日帰り温泉の「なかやま温泉館」のみ営業を行っている状況です。

自然休養村なかやま荘を高齢者が短期で入所できる施設にできないかのご提言ですが、この施設の建設には、国の農業構造改善事業促進対策費補助金を活用していることから、この施設の利用目的を観光宿泊部門から介護福祉部門に変更するには、施設の耐用年数を超えた後となり、現状では用途の変更をできない状況となっております。

自然休養村なかやま荘の今後の利用方法につきましては、公共施設再編計画で協議を進めているところですが、介護福祉施設を含めた様々な利用方法を検討し、その利用方法により指定管理者が適正に運営することができるかどうか等を総合的に判断しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

【回答担当課：商工観光課】

【お問い合わせ先】
総務課 及川隆二
内線 1231